



JR東労組 八王子

HACHIOJI



ホームページ

発行責任者
執行委員長 針谷 歩

2022/9/24 №24

9月15日 八地申2号「2022年度営業関係施策に関する」

申し入れ交渉開催！！ その②

【申し入れ内容】

3、青梅駅、武蔵小金井駅、府中本町駅の「話せる指定席券売機」設置までの間は、お客さまへのご案内を丁寧に行い、「話せる指定席券売機」の社員に対する教育と機能の説明を行い、お客さまが安心して利用いただける案内体制の充実を図ること。

・支社内で「話せる指定席券売機」導入駅でのトラブルはないのか？

・導入後の案内体制はどうなっているのか？

・支社内オペレーターとのやり取りでの購入された実績はどの程度か？

4、定期券や繁忙期の多売期においては、近隣のみどりの窓口設置駅含めた案内体制の強化を図ること。

・窓口がある駅は近隣の窓口終了の駅からお客さまが流れてきていて対応に苦慮している。

5、団体乗車券は発券するまで人数変更手数料はかからないが、当日早めに乗車駅に来て発券し乗車される。出札がないと当日に他の駅へ行かないと発券できなくなるため、救済策を講じること。

・特に子供の遠足などで団体乗車券を利用する学校の先生に負担がかかるのでは。子供は国の宝、私たちの働き方改革が他に負担をかけてはいけない。現場で働いている社員の意見だ！

6、今施策を実行するにあたって「転勤」が発生するのか明らかにすること。本人が描くキャリアプランを遵守したうえで、今施策を実施すること。

・今施策についての転勤はあるのか？

【回答】

引き続き必要な周知は行っていく。

・導入駅でのトラブルは発生していない。

・従来窓口を担当していた時間を「話せる指定席券売機」の案内をするなど各駅で工夫して行っている。

・詳しいデータは持ち合わせていないが、支社内では1日平均20件程度である。

業務運営に必要な要員は確保していく。

・定期券や繁忙期の多売期には日勤をつけて対応していく。→**確認**

引き続き必要な周知は行っていく。

・自治体への周知は引き続き行っていく。

・団体乗車券はJR各社共通の制度なので簡単に変更はできないが、検討はしていきたい。**現場社員の意見として受け止める。**

就業規則に則り取り扱うこととなる。

・今施策についての異動はないが、任用の基準での異動は有り得る。



すべての人に優しい鉄道・営業職場を現場の意見をもとに創りだそう！